

100歳おめでとうございます

11月に満100歳を迎えられた人に、市長からお祝いのメッセージと祝金が贈られました。

- 100歳到達者
土田 盛さん
(明治44年11月1日生)
※本人の希望により写真はありません。

栄工業団地秋祭り

栄工業団地協同組合(大澤宏一理事長)の第9回秋祭りが、10月16日、地域住民や従業員など約1,200人が来場し、秋晴のもとにぎわいました。

ステージイベントでは、栄保育園児の太鼓演奏やフラメンコのステージ披露などで会場は大いに盛り上がり、恒例行事を楽しむ地域住民の笑顔が各所で見られました。



▲射的で楽しむ来場者

セミコンテクノパーク清掃活動

セミコンテクノパーク協議会が、10月27日、社会貢献の一貫として清掃活動を行ないました。

この活動は、セミコンテクノパークに立地する企業17社が、例年この時期に行なっているもので、当日は約80人の参加者が、道路沿いの植込みの中や、公園などを中心に、燃えるごみや空き缶などを回収しました。



▲約40kgのゴミを回収

第2回子ども会議を開催!

10月14日、西合志庁舎で市内3中学校の生徒代表が市長、副市長、教育長と意見を交わす、第2回子ども会議が開催されました。

生徒からは「若い人たちが働ける環境づくり」や「商業施設の開発」などのさまざまな意見が飛び交い、市長の回答に対して真剣に耳を傾けていました。

また、市長、副市長、教育長から、学校での過ごし方や取り巻く環境などについて質問されると中学生らしく堂々と答えていました。



▲子ども会議に参加した生徒たち

教育に新聞を活用 NIE協定締結

熊本日日新聞社と本市教育委員会は、10月14日小中学校児童生徒の言語活動充実のための新聞活用協定書を締結しました。

これは、学校が新聞記事を活用して授業や教材作り(校内掲示、学級通信など)を行なう場合の新聞社の著作権の使用に関する協定です。

本年度から新しい学習指導要領(小学校)では新聞を扱った単元や題材が登場し、学校への新聞活用によって児童生徒の思考力、判断力、表現力の向上が期待されます。



▲熊本日日新聞社の松下編集局長(左)と教育長(右)

合志市教育の日

公開講演会「合志義塾～農とこころの学び舎～」が、11月5日、ヴィーブルで開催されました。

合志義塾は明治25年から58年間、旧西合志村に開設されていた私塾で6,590人の同窓生を輩出しています。

講演では熊本高専の伊藤利明先生が「合志義塾の教育と近代農民像」、元塾生である岡村良昭さんが「合志義塾に学んで～私の心棒を育んでくれた義塾の教え～」と題した内容で合志義塾の歴史や思い出などを話されました。



▲合志義塾の歌を披露する同窓生のみなさん

♪バンドフェスティバルを開催♪

市内の小・中学校や高校、一般の吹奏楽団6団体が一堂に会し「合志市バンドフェスティバル2011」が11月6日、ヴィーブルで開催されました。このフェスティバルは互いの演奏を聴き合うとともに、演奏準備を互いに手伝うなど、手作りの演奏会で、フィナーレでは約200人での大合奏&大合唱でお互いの交流を深め、ほぼ満席の観衆を魅了しました。



▲フィナーレの大合奏&大合唱

全国障害者スポーツ大会 卓球競技で優勝!

渡邊キヌヨさん(野付)が10月22日～24日に山口県で開催された、第11回全国障害者スポーツ大会の一般卓球女子の部で優勝しました。

渡邊さんは、平成19年の秋田大会でも優勝し、今回で2個目の金メダル獲得となりました。



▲優勝の喜びを話す渡邊さん

文化フェスティバル2011 を開催しました!

11月12日、13日に「第5回合志市文化祭」と「合志図書館まつり」、「歴史資料館第7回特別展」を開催し、延べ4,000人の来場がありました。文化祭では約1,200人の文化協会員が日ごろの活動の成果をステージ、作品展示会場で発表しました。今年はバレエ、エアロビクスの特別ステージや、書道体験、手作り木製おもちゃなど観て、触れて楽しめる催しとなりました。

資料館特別展は「合志市の交通展～過去・現在～」と題し、12月11日(日)まで開催中です。



▲ヴィーブルメインアリーナでの作品展示